

不易流行

～和賀組社長からのメッセージ～

VOL.39 (2019.6.27)

令和元年度スローガン
みんなで目指す顧客感動経営
顧客満足(CS)と従業員満足(ES)の向上
～和賀組さんで良かったと言われよう～

株式会社和賀組 代表取締役 和賀幸雄



6月12日、東京にてJ R東日本ビルテックの安全推進フォーラムが開催され出席して参りました。来賓としてJ R東日本鉄道事業本部安全企画部長の松橋賢一氏が招かれ、講演を聞く機会がありました。J R東日本では昨年、J R東日本部ループ経営ビジョン「変革 2027」が策定され、新たに「グループ安全計画 2023」が策定されました。この計画では環境の激変に対応すべく「進化」と「変革」をサブタイトルとして掲げ、これまで推進してきた安全への取組をそのまま実行するだけでなく、環境の変化に対応して進化させ変革していくという方向性が明確に打ち出されています。

具体的には5ヶ年計画の目標として鉄道運輸

事故の発生件数2割減、グループ会社に起因する鉄道運輸事故ゼロ、ホームにおける鉄道人身傷害事故3割減、踏切障害事故を着実に減少、自然災害に対するリスクの着実な低減が設定され、到達点として「お客様の死傷事故ゼロ」「社員の死亡事故ゼロ」が掲げられています。私たちパートナー会社もJ R東日本の目標をしっかりと把握し、その達成に向けて不断の努力を積み重ねていくことが、発注者の負託に応えることになるのです。

J R東日本では、会社発足以来、安全を経営のトッププライオリティと位置づけ、過去6回の安全5ヶ年計画に基づき安全性向上に取り組んでまいりました。

本年7月にはJ R東日本グループ経営ビジョン「変革 2027」を策定し、「究極の安全」を追求することにより、グループのあらゆる活動の基盤である、お客さまや地域の皆さまからの「信頼」をさらに高める取組を進めています。

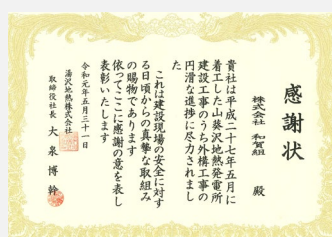
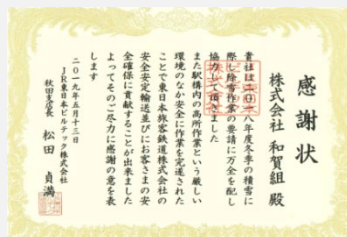
一方で当社グループを取り巻く環境は、人口減少、ICTを中心とする技術革新、自然災害の激甚化など、非常に激しく変化しており、その変化は今後も急激に加速していくことが見込まれます。

このたび、新たな安全5ヶ年計画「グループ安全計画 2023」～「進化」と「変革」～を策定しました。一人ひとりの「安全行動」を起点に、「究極の安全」を追求していきます。

グループ安全計画 2023では、「一人ひとりの『安全行動』の進化と変革」「安全マネジメント」の進化と変革」「新たな技術を積極的に活用した安全設備の整備」という取組の3本柱のもと、環境変化に的確に対応して具体的な取組を進めていきます。

なお、5年間の安全に関わる投資額は約1.2兆円を見込んでいます。

この一ヶ月間で、ユニオン建設様、J R東日本ビルテック様、湯沢地熱様、鉄建建設様から感謝状・表彰状を頂きました。



私たちの仕事がお客さまから満足のいく評価を頂いていることに自信を持ち、油断をせずに気持ちを新たに今期の仕事に臨んで参りましょう。

バーベキュー大会

6月8日、恒例行事となったバーベキュー大会が開催。久しぶりにO Bの皆さんの顔も拝見することができ、楽しいひと時でありました。



高校出前講座

6月5日雄勝高校、7日羽後高校、15日に湯沢翔北高校で出前講座を行いました。今年で4年目、教職員の皆さんの見る目も変わってきている様に感じますし、確実に建設業界を目指す高校生が増えてきています。



菅義偉官房長官来湯

6月16日、菅義偉内閣官房長官が湯沢グランドホテルで講演をされました。これに先立ち山葵沢地熱発電所を視察されております。ふるさと湯沢に対する熱い想いを語って頂き、皆勇気を頂きました。

